

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 22 日作成)

小委員会名	CA 技術小委員会		主 査 名：星野春夫 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (建築生産運営委員会)		委員長名：本橋健司 主 査 名：岩澤成吉
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築生産の自動化技術、システム技術などの研究開発の啓蒙・促進を行う。 ・第 8 回ワークショップの企画・開催 (2013 年 1 月予定) ・第 13 回建設ロボットシンポジウムの企画・開催 (2012 年 9 月、土木学会、ロボット学会等と共同開催)		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：星野春夫 (竹中工務店)、幹事：井上文宏 (大林組)、幹事：蔡成浩 (鹿島建設)、 組田良則 (フジタ)、椎名國雄 (東海大学)、平林裕治 (清水建設)、眞方山美穂 (国土交通 省)、三浦延恭 (国土館大学)、三輪明広 (戸田建設)、森直樹 (大成建設) 10 名		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	95,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価	
委員会開催数	9 回 (年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 8 回ワークショップ (2013 年 1 月 29 日開催) ワークショップ予稿集作成	参加者数 54 名
大会研究集会		
対外的意見表明・パ ブリックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 第 8 回ワークショップ (1 月 29 日開催) は「解体、リニューアルにおける自 動化技術の将来展望」をテーマとし、「解体・リニューアル技術」として 4 編 の発表と、「新しい超高層解体工法」として 5 編の概要説明および質疑応答を まとめて設けた。また、日本建設業連合会 IRT 委員会が実施した「建設業のロ ボット化に関する調査研究」に関する研究結果報告を設けた。 2. 2012 年 9 月に建設ロボットシンポジウムを、他学会・協会と共同で開催した。	
委員会活動の問題点 ・課題		